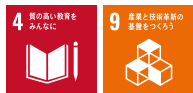


□ 要請番号 (JL54825A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	D272 皮革工芸		個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

投資産業貿易省

2) 配属機関名 (日本語)

中小企業開発公社ドドマ地域事務所

3) 任地 (ドドマ州ドドマ市) JICA事務所の所在地 (ダルエスサラーム市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

中小企業開発公社(SIDO:Small Industries Development Organization)は中小企業支援を目的に1978年に設立された公的機関であり、起業家や個人経営者に向けた技術支援や情報・施設の提供、各種トレーニングコースの実施等を行っている。配属先であるドドマ地域事務所は、タンザニア国内にある26ヶ所ある事業所の1つであり、ドドマ地域の中小企業支援業務を担っている。年間予算は約4億4400万タンザニアシリング(日本円約2480万円)。2017年6月までJICA海外協力隊員(経営管理)が派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、皮革製品生産者の育成に力を入れており、2011年にトレーニングセンターを設立し、3ヶ月毎にトレーニングコースを開講している。また、コース修了者には、1年を上限にトレーニングセンターおよび機械や工具の使用を許可して、技術向上の支援を行っている。トレーニングコースは初級コースでは革製サンダル、中級コースでは革製スクールシューズの製作技術を指導しており、各コース20人~35人が受講している。講師は市内の皮革製品生産者2名が務めている。配属先は、受講者・コース修了者への効果的な技術指導、市内生産者への技術的支援の充実化を目指しており、今般、JICA海外協力隊が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先スタッフ、講師と協力して以下の活動を行う。

- 市内の皮革製品生産者・業者や製品の状況把握。
- トレーニングコースにおいて、受講生を対象とした技術指導、講師の技術、指導能力の向上支援。
- 皮革製品の製作技術、製品に関する技術やアイデアの紹介、共有。
- トレーニングセンターにおける5S活動の促進。

*使用するのは牛皮、およびシープスキン等で加工済みである。

*革製バッグ等の製品開発も期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

工業用ミシン(フラットベッド、ポストベッド)、コンプレッサー、革漉き機、レザーストラップ切断機、プレス機、グライNDER、スタンピング機、作業台、ハサミ等の工具

4) 配属先同僚及び活動対象者

事務所長(男性、修士、40代)

トレーニングセンターコーディネーター(男性、大卒、40代)
トレーニングセンター講師1(男性、50代、経験32年以上)、講師2(男性、30代、経験6年)
指導対象:初等教育～大学卒業者「読み書き」が出来ることが受講条件

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スワヒリ語	スワヒリ語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（専門学校卒） 備考：受講生に指導するため
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（実務経験）5年以上 備考：受講生に指導するため

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（15～30℃位） [電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

タンザニアの赴任後の研修でスワヒリ語を学習する予定。